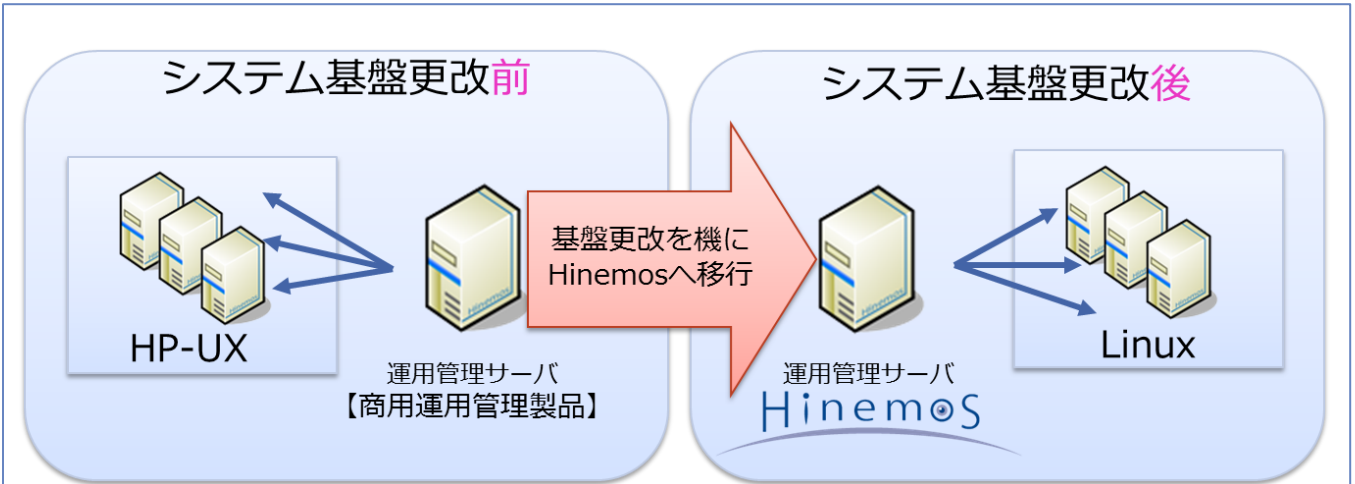


他の商用運用管理製品からオープンソースのHinemosへ移行し、運用レベルを維持しながら保守費用を大幅低減

# 株式会社NTTデータ 金融機関向けASPサービス共通基盤システム様



## 金融機関向けASPサービス共通基盤システムの基盤更改

2014年のシステム基盤更改を機にHW・SW構成を見直し、コスト削減を目的にOSSを全面的に採用する方針を設定。監視やジョブ管理の基盤となる運用管理機能を、他の商用運用管理製品からHinemosへ移行し、運用レベルを維持しながら運用コストの大幅削減を実現した。

### 他の商用運用管理製品からHinemosへ移行し大幅なコストダウンへ

Hinemosを採用することで、他の商用運用管理製品と比べて大きなコストダウンが実現できました。ポイントは次の3点だと考えています。

#### ①ライセンスフリー

オープンソースであることから、ライセンス費用は必要ありませんでした。製品保守サポートのみ利用しているため、初年度のインシャルコストを抑え、ランニングコストのみの費用支出ですみます。

#### ②プロセッサ数に依存しない費用体系

他のジョブ管理の製品に特徴的な「プロセッサライセンス」に相当する費用がHinemosにはありませんでした。他の製品では、サーバ台数だけではなくCPU・プロセッサ数により、ライセンス費用と保守費用が大きくスケールします。そのため、バッチ処理サーバなどCPUを行う処理が多いシステムの場合、非常に高額な費用が掛かります。Hinemosの製品保守費用にはCPU・プロセッサ数によるスケールファクタが無いいため、非常にリーズナブルな価格で利用できます。

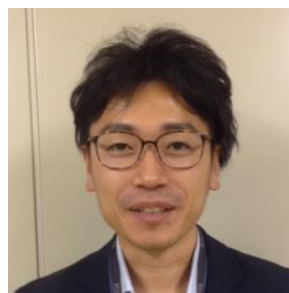
#### ③管理サーバ数が多いほどコストメリット

他の運用管理製品と比較して、管理サーバ数が増えれば

増えるほど、顕著にHinemosのコストメリットがでます。そのため、増設などの要件にも安心して対応できます。

以上より、他の運用管理製品からHinemosへの移行に関する作業は発生しましたが、トータルで見ると大幅なコストダウンが実現することができました。また、「移行」そのものについても、運用管理で重要なジョブ管理と監視の機能が十分にそろっていたため、特に問題なく既存環境からの移行が完了しました。

### お客様プロフィール



システム基盤更改時において、Hinemosによる運用管理を設計工程から参画。Hinemosの機能については細かな部分まで熟知していると自負している。現在は維持業務を担当しHinemos導入による運用コストの削減効果を肌で感じている。

NTTデータ 第四金融事業本部  
e-ビジネスプラットフォーム担当  
片山 達朗

- ★キーとなるHinemos製品やサービス★
- ・商用運用管理ツールからの移行サービス
- ・Hinemos基本機能（監視・性能・ジョブ管理）

## 大幅に機能拡張したHinemosのジョブ機能

Hinemos v4.1からバージョンアップの度に大幅にジョブに関する機能が追加・拡張されており、ファイルチェック契機でのジョブの起動や、参照ジョブの定義、実行優先度の設定など、他の運用管理製品からの移行の観点では十分な機能がそろっていました。現在、約2200ジョブが動作しています。

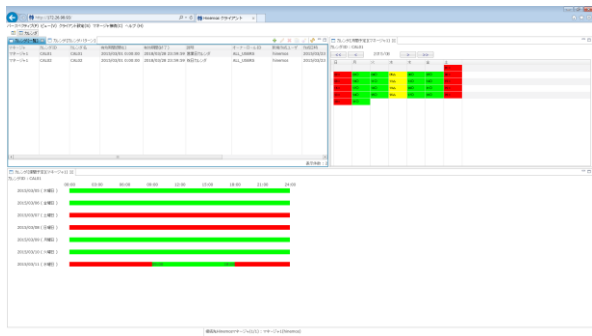


図.Hinemosカレンダー機能

特にHinemosの大きな特徴として感じているのはカレンダー機能です。営業日、メンテナンス日の設定や、日跨ぎ対応(48時間カレンダー)など、高度な運用カレンダー定義ができます。こういった高度なカレンダーを活用するジョブのスケジューリングは、日本独特の慣習によるものが多く、海外の製品では中々機能が足りません。また監視のみの製品ではもちえない範囲でした。Hinemosは日本製のソフトウェアとして、こういった日本独自の慣習にも対応するジョブと監視の機能をセットでもつという特徴があり、これも本製品を採用したポイントの1つになります。

## ジョブマップにより簡単操作・簡単把握

もう1つのHinemosの特徴としてはジョブマップ機能です。名前の通り、ジョブ定義を視覚的に見やすく作成・編集したり、実行状態を確認できる機能です。マウス作業だけでジョブフローが組めたり、実行中のジョブフローがどこまで進んでいるのか、何か障害が発生しているのか、の把握が簡単にできます。複雑な業務処理の場合、ジョブフローが長くなったり、条件

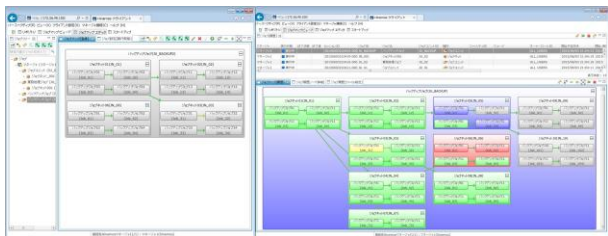


図.Hinemosジョブマップエディタとジョブマップビューア

分岐が多くなったりしますが、この機能のおかげで初期構築時のSE作業や、運用開始後のオペレータ作業がミスなく進めることができました。特にジョブフローが自動配列にて表示されるため、どんなに複雑なジョブフローでもジョブやジョブネットが簡易に確認できます。ジョブフローを手動で配置設定する製品と比較すると、これは非常に便利でした。

## 多種多様な監視機能にてシステムの安定稼働をサポート

監視の機能についても多くのラインナップが揃っていたため、問題なく移行することができました。サーバ等機器のリソース監視やログファイルの監視、Webの応答監視、MIB定義を取り込んでのSNMPTRAP監視など、システム運用に必要な機能がダイアログから設定するだけで簡易に動作させることができました。またカスタム監視といった任意のコマンド・スクリプトを組み込んで監視を実現するといった手段もあるため、自由度の高さも気に入っています。

監視結果を通知する機能も多くそろっており、監視結果を任意のコマンドの引数に渡して実行し、システム間連携が簡易に実現できる仕組みも揃っていたので、これも使用しています。

## 高可用性を安価に実現できるアーキテクチャ

Hinemosの高可用性構成はHAオプション(現在の名称はミッションクリティカル機能)が必要ですが、この機能機能はレプリケーション型であったため、共有ディスクや追加のクラスタミドルウェアの購入が不要で、サーバ2台だけで実現できました。共有ディスクを用意するとファイバチャネルの設置・設定であったり、クラスタミドルウェアを購入するとその組み合わせの確認や障害時の切り分けが複雑になりますが、Hinemosはこれらが必要なくオールインワンで高可用性が実現できるため、この点も重要だと考えています。

## 最後に

製品移行は特に問題なく実現でき、運用コストを十分に削減でき、そしてオープンソースということでベンダロックインを回避できる有用なツールと感じています。今後の案件でもぜひ採用し、お客様に満足頂けるコストと品質のシステムをお届けしたいと考えています。

## Hinemos移行ソリューションについて

Hinemosアライアンスでは、これまでの製品移行のノウハウを元に、移行をソリューションとして展開しています。ご興味がありましたら、以下のお問い合わせ先までご連絡ください。

お問い合わせ先  
エヌ・ティ・ティ・データ先端技術株式会社 ソリューション事業部

2018年03月版

[Hinemosポータルサイト]  
<http://www.hinemos.info/>

※本資料で紹介しております製品・内容についてのお問い合わせは上記にて承っております。掲載団体への直接のお問い合わせはご遠慮願います。